

2007 平成19年

いずも 放水路

10月号 vol.163

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

神戸川 (拡幅部)

古志大橋周辺を散策しよう！

蕎麦の花
ようやく秋らしい天気が続くようになり
ました。神戸川中流部沿川では、蕎麦
の花が満開です。

神戸川（拡幅部）

古志大橋周辺を散策しよう！

古志大橋周辺は、古代より現在まで神戸川の流れと大きく関わってきました。そこで、今月号では、古志大橋を中心として左岸側の神戸川にまつわる散策スポットを紹介いたします。かつての神戸川やまちの風景に思いをめぐらせながら、散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

縄文時代 ～古墳時代

神戸川の自然堤防上に古墳、集落が発達していった時代。



「自然堤防」ってなあに？



1 宝塚古墳

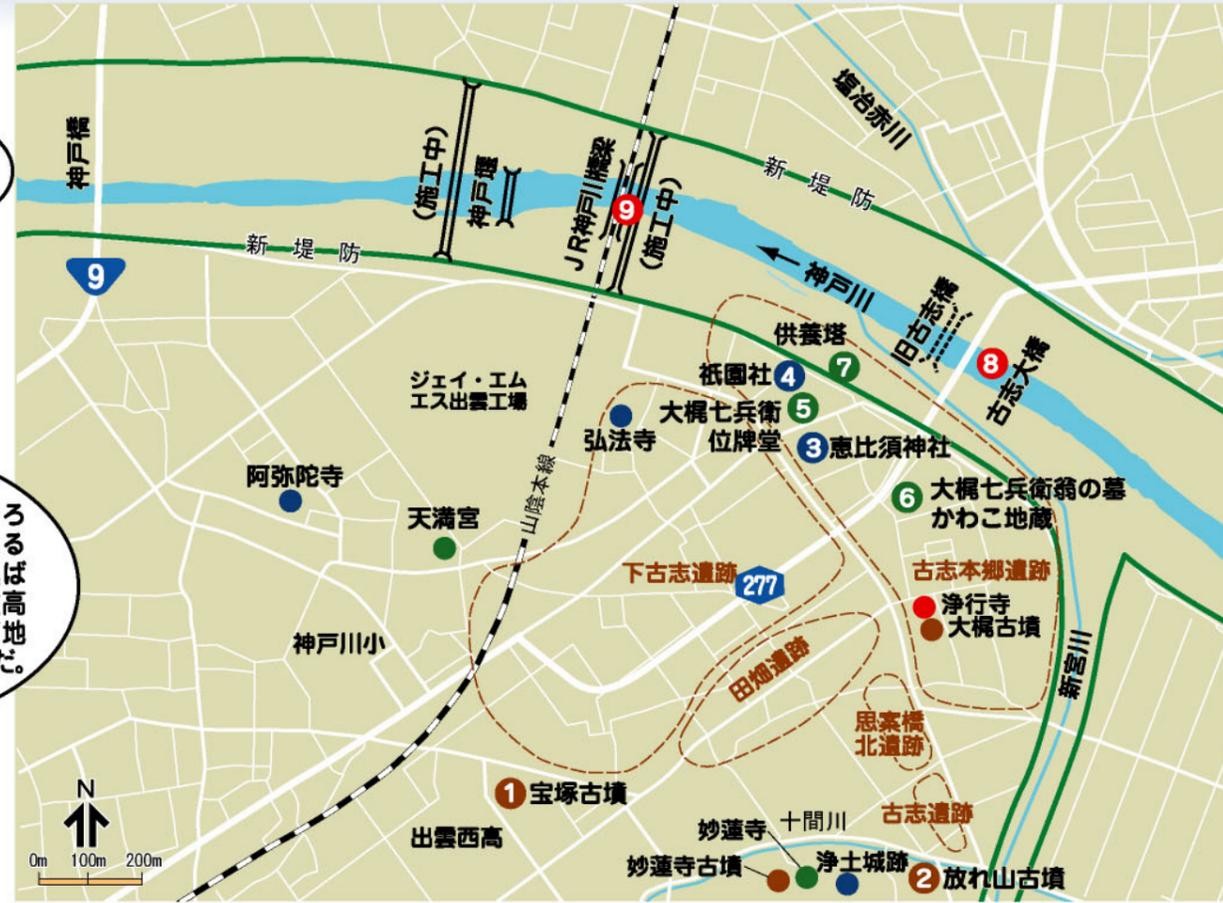
住宅地に囲まれて、時間が止まったような空間。



2 放れ山古墳

古墳の上には大きなサクラあり。

山地から平坦地に出たところで、川の流れは穏やかになるよね。そこには上流から運ばれてきた土が堆積して、微高地ができるんだ。その微高地のことを自然堤防と呼ぶんだ。



奈良時代 ～戦国時代

神戸川の出入口として役所や城が置かれ、町が繁栄した時代。



3 恵比須神社

724年頃、商売繁盛の神として祀られた。



4 祇園社

スサノオノミコトを祀る。神戸川の流れと共に移転を繰り返す。

このころ、神戸川には堤防が築かれておらず、神戸川の流路も数回変わったんだって。



安土桃山時代 ～江戸時代

旧山陰道と神戸川の舟運の要衝として町が発展した時代。この頃、神戸川に人工の堤防が築かれました。



6 大楯七兵衛翁の墓とかわこ地蔵

1689年建立。墓の前には、神戸川にすむかわこ（河童）をつないだという言い伝えのある地蔵が、かつての位置に残される。

5 大楯七兵衛翁位牌堂（正法寺境内）

斐伊川から高瀬川、神戸川から十間川を開削し、沿川に良田をもたらした、大楯七兵衛翁の位牌堂。



7 供養塔

すのこ橋や渡し舟で神戸川を渡った時代、川を通過する際の溺死者への供養として建立。旧堤防上にあった供養塔は、新堤防に移設された。

すのこ橋：桁橋の一種で、橋桁の上に皮付きの小丸太を並べて橋面としたもの。

明治時代 ～現在

平成6年より斐伊川放水路工事がスタート。神戸川の治水の安全性が高くなり、安心して暮らせる新しいまちが完成しつつあります。

8 古志大橋



近世以前は渡し舟。近世にすのこ橋がかけられ、明治18年木橋に改架。さらに、昭和7年にコンクリート橋に架替えられた。神戸川の拡幅工事に伴い、平成13年に赤いアーチ橋となる。



9 JR神戸川橋梁



現在利用されているJR橋は大正2年に架けられた。神戸川拡幅工事に伴い、新しくトラス橋として生まれ変わる。現在兩岸の線路の取り付け工事が進行中。



お願い

工事現場は危険です！立入禁止区域には絶対に入らないでネ。



尾原ダム堤体コンクリート 打設を開始しました。

九月十二日（水）、斐伊川上流部に建設中の尾原ダムの堤体コンクリートの打設が始まりました。この日、地元関係者等総勢約五十名が見守る中、一連の打設作業が行なわれました。

今後、約二年半をかけて約六十六万³m³のコンクリートを打設します。

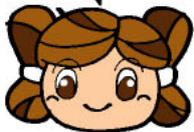


ダムサイト全景



バケットからコンクリートを放出

ぜひお立ち
寄り下さい！



コンクリート打設は、その日の気象条件を見ながら行いますが、最盛期には昼夜連続の作業となります。コンクリート打設の状況は、展望広場から間近に見ることが出来ます。

斐伊川の親水護岸で レガッタが行なわれました。

九月三十日（日）、斐伊川上流部、雲南市木次町の斐伊川特設コースでレガッタが行なわれました。島根、鳥取、広島から約百クルーが参加し、秋風の中、斐伊川水面を滑走しました。

この個所は、平成十八年七月豪雨災害に見舞われ、護岸流出の被害にありました。



復旧された護岸



レガッタ

そこで、国土交通省出雲河川事務所では、斐伊川の災害復旧工事を実施しました。毎年恒例となつたレガッタの会場は緩傾斜型の護岸で復旧しました。川へのボートの乗り入れが今まで通り容易となり、親水性の高い水辺空間が創出されました。

工事発注情報

- 斐伊川放水路大津第2掘削工事
H19.9.8～H20.2.28 出雲土建(株)
- 斐伊川放水路開削部左岸管沢堤防道路外工事
H19.9.22～H20.3.31 (株)都間土建
- 斐伊川放水路大津第4地盤改良工事
H19.9.28～H20.2.28 ライト工業(株)



九月十八日（日）、大橋川、中海を舞台に全国ペーロン選手権が行なわれました。地元選抜チームをはじめ5チームが参加し、松江市の大橋川から中海を経由し、境港市に向かい滑走しました。

全国ペーロン選手権中海大会 が行なわれました。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail:izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>